



探訪 長門のい（おみ） ③1

国指定史跡

青海島鯨墓

この墓碑は、長門市通・清月庵（旧向岸寺隠居所）の敷地内にある。元禄5年（1692）、鯨組網頭（願主）の手によって建立、捕獲した母鯨に宿していた胎児を墓碑の背後に埋葬した。

墓碑の正面の銘文には、

業盡有情雖放生

南無阿弥陀佛

故宿人天同證佛果

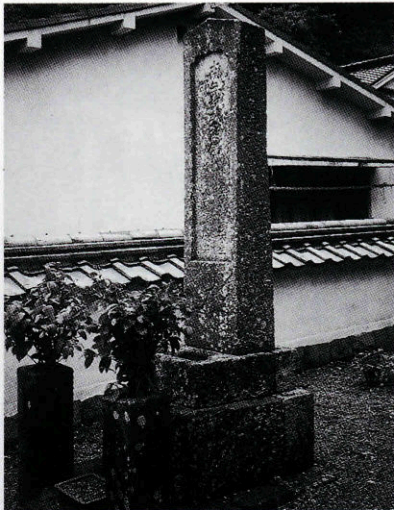
とあり、側面に

壬 願 設楽孫兵衛

元禄五年 五月 池永藤右衛門

申 主 早川源右衛門

と刻まれている。



正面下段の

銘文は「鯨とし

ての生命は母鯨

とともに終わったが、われわれの目的はおま

えたち胎児を捕ることではなかった。むしろ、

海へ放してやりたいのだが、広い海へ放たれ

ても、独りではとても生きてはいけまい。そ

れ故に、われわれ人間と同様に念仏回向の

功德を受け、諸行無常の悟りを得てくれるよ

うにお願いする」と、いうほどの意味である。

（前西円寺住職・綿野得定師）

通浦の捕鯨は延宝元年（1673）ごろか

ら、鯨組の活躍で捕獲数も大幅に増えた。当

時から200年以上にわたり、ここに葬られ

た鯨の胎児は70体余に及んでいる。このよう

な鯨の墓は全国的にも珍しく、いかにも通浦

漁民の人情の奥ゆかしさを物語るものであ

る。

延宝のむかし、向岸寺五世・讚誉上人が始

めた「鯨回向」は、捕鯨の廃れた現在でも、

毎年盛大に営まれている。

——IWC（国際捕鯨委員会）下関会議を

前に、3月21日、ルネッサなどがとて「第一

回日本伝統捕鯨地域サミット」が開かれる。

（正）



（寄稿・長門市郷土文化研究会）



火災時の問い合わせは

☎ 22-1414

長門地区消防本部・中央消防署

☎ 22-0119

大惨事を教訓に！

昨年、東京・新宿歌舞伎町の雑居ビル火災で、44名の方が逃げ遅れにより亡くなりました。

この要因は次のとおりです。

- 避難路となるべき階段が一か所しかなかった。
- 階段に置いてあったロッカーや可燃物等が障害となり防火戸が閉まらず煙が急速に充滿した。
- 窓がベニヤ板等でふさがれていたため避難器具を使用できなかった。

この大惨事を教訓として、今後こうした雑居ビル内の店を利用する際には、まず避難口や避難器具がどこにあるかなど“いざ”というときの避難方法を確認しておくことが大切です。